

船舶事故等調査報告書

平成24年5月31日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第174号	
事故等種類	衝突（防波堤）	
発生日時	平成23年9月5日 05時30分ごろ	
発生場所	鹿児島県屋久島町安房港 ^{あんぼう} 安房港沖北防波堤東灯台から真方位150° 660m付近 （概位 北緯30° 19.0′ 東経130° 40.2′）	
事故等調査の経過	平成23年12月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 第五竹吉丸^{たけよし}、14トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 KG2-6004（漁船登録番号）、有限会社吉武水産</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	本船 船首喫水上に亀裂、アンカースラスタに破損 防波堤 なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、安房港に向けて約315°（真方位）の針路及び約10ノットの速力で航行中、船長が居眠りに陥り、平成23年9月5日05時30分ごろ安房港沖防波堤に衝突した。</p> <p>本船は、応急処置をして自力で航行し、造船所に向かった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 低潮時</p>	
その他の事項	<p>本船は、5隻で構成されるまき網船団の灯船であった。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.3m、船尾約1.0mであった。</p> <p>船長は、前日からの睡眠時間が合計約5時間であった。</p> <p>船長は、本事故発生当時、椅子に腰を掛けて舵を握っていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、安房港南東沖を同港に向けて航行中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥ったことから、安房港沖防波堤に向首して航行し、同防波堤に衝突したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が、安房港南東沖を同港に向けて航行中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥ったため、安房港沖防波堤に向首して航行し、同防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単独で乗り組んで船橋当直を行って沿岸を航行中に眠気を感じたときは、安全な海域で停泊して休息すること。 	